

ブリュッセルのグラン・プラス



2016年8月筆者撮影

基本データ

所在地

ブリュッセル（ベルギー）

正式名称

グラン・プラス

（仏語 Grand-Place；オランダ語 Grote Markt）

特徴

- ブリュッセル旧市街に位置する広場
- 広さ：70メートル×110メートル
- ブリュッセル中央駅から徒歩5分

様々な文化・社会から成るベルギーを特徴づけるように、建築上・芸術上のスタイルがうまく融合されている点、及び、繁栄期の北ヨーロッパにおける商業都市の発展と栄華を表現している点が評価され、世界遺産に登録されました。

登録区分 文化遺産

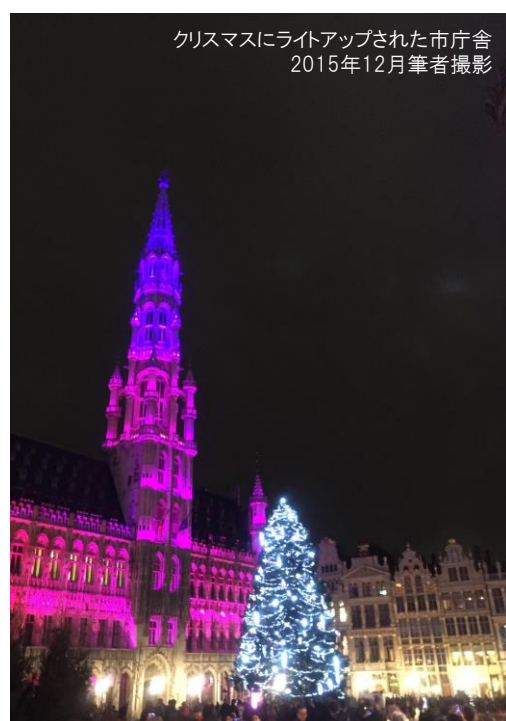
登録基準 (ii), (iv)

登録年 1998年

グラン・プラスの歴史

グラン・プラスは、ブリュッセル旧市街に位置する、市庁舎、王の家（現：ブリュッセル市立博物館）、ギルドハウスに囲まれた広場です。広場の象徴である市庁舎はゴシック様式で、高さ96メートルの塔を中心に東側と西側にわかれています。市庁舎は15世紀初めから中頃にかけて建築されました。一見すると市庁舎は左右対称ですが、よく見ると、実は非対称であることがわかります。これは、複数の建築家が長期にわたって設計したためであり、また、各々の建築家は、建物の土台が湿地であることを考慮しなければならなかったためです。王の家とギルドハウスは17世紀の大同盟戦争中にフランスからの砲撃によって破壊された後、再建されて今の姿に至っています。

参考：ベルギー政府ウェブサイト 'DID YOU KNOW THAT THE CITY HALL OF BRUSSELS HAS AN ASYMMETRICAL FAÇADE ?' <http://focusonbelgium.be/en/facts/did-you-know-city-hall-brussels-has-asymmetrical-facade>)；ブリュッセル市ウェブサイト： 'Grand-Place of Brussels' <https://www.brussels.be/grand-place-brussels> ；ユネスコウェブサイト： 'La Grand-Place, Brussels' <https://whc.unesco.org/en/list/857> (いずれも2018年6月5日最終アクセス)



クリスマスにライトアップされた市庁舎
2015年12月筆者撮影



豪華な建物と様々な催し

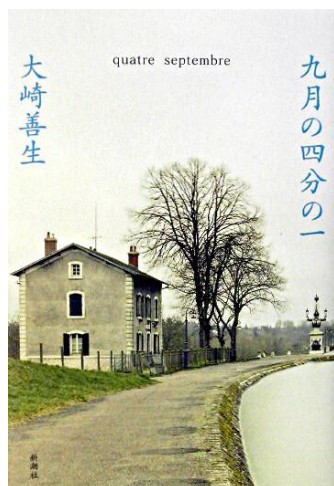
グラン・プラスの魅力は、広場を囲む建物の美しさにあります。市庁舎の内部もタペストリー等によって装飾されています。

広場では季節ごとに様々な催しが行われています。最も代表的なのは、2年に一度、夏に開催されるフラワーカーペットです。2016年には、ベルギーと日本の国交150年を記念して、和柄にデザインされたカーペットになるよう花が敷き詰められていました。また、クリスマスにはクリスマスマーケット、大みそかにはカウントダウンが行われていました。グラン・プラスは、観光名所であり、さらに、市民の憩いの場ともなっています。



市庁舎から撮影した2016年のフラワーカーペット。正面の建物が王の家。その周辺の建物はギルドハウス。
2016年8月筆者撮影

本の紹介



大崎善生『九月の四分の一』新潮社 2003年

短編4話が収録された短編恋愛小説です。最後の短編『九月の四分の一』にて、グラン・プラスが舞台とされています。グラン・プラスの写真に魅了され、ベルギーに向かった日本人青年が主人公です。

本作では、グラン・プラスだけでなく、ベルギービールやアールデコも登場するので、ベルギー文化に興味がある方にお勧めの1冊です。果たして「九月の四分の一」に隠された意味とは……？

📍【配架場所】本館3階 【請求記号】9100:2901

自己紹介

氏名 吉本文

所属・学年 法学研究科／博士後期課程

2年前にベルギーに留学。

サッカー観戦前に、ベルギー国旗を友人の顔に描いています→

